

### 国際交流員と国際親善都市からの派遣職員

本市では国際交流や国際親善を推進するため、韓国や中国から国際交流員を招いたり、韓国坡州市と市職員の相互派遣を行ったりしています。市民の皆さんに国際交流をもっと身近に感じていただけるよう、今回から国際交流員など市役所勤務の3人に関連するさまざまな情報をシリーズでお知らせしますので、どうぞよろしくお願いいたします。今回は2つの制度の目的などを紹介します。

#### ●国際交流員とは？

地域の国際化や国際交流を推進するために外国人の青年を招く制度(本市では平成9年度から実施)で、現在、韓国と中国から1人ずつ招いています。業務は市の事業に係る翻訳・通訳や国際交流団体の支援、文化に関する出前講座などを行っています。

#### ●国際親善都市からの派遣職員とは？

坡州市との行政交流の一環として行っている制度で、ことし3月から坡州市職員と佐世保市職員の相互派遣を実施しています。業務は観光・産業分野に関する知識修得や研修などを行っています。

写真は今年度の国際交流員と派遣職員 上：李 載宇さん(韓国国際交流員)、中：王 珊珊さん(中国国際交流員)、下：鄭 燦龍さん(坡州市派遣職員)

☎国際政策課 ☎24-1111

私たち、ここから来ました  
よろしくお願ひします!



### 佐世保空襲関連のお知らせ

#### 佐世保空襲死没者追悼式

太平洋戦争末期の昭和20年6月28日から29日にかけて、佐世保市は米軍機による爆撃を受け、市街地の大部分を焼失し、多くの尊い命が犠牲となりました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするため、佐世保空襲死没者追悼式を下記のとおり開催します。当日午前10時には市内全域でサイレンを鳴らしますので、黙とうをお願いします。

☎6月29日(土)10時  
場 市民会館・集会室A

#### 佐世保空襲資料展

☎6月17日(月)～28日(土) (土・日曜は除く)  
場 市役所1階・イベントホール  
内 空襲に関する写真の展示

☎市民生活課 ☎24-1111



佐世保空襲犠牲者慰霊塔(中央公園)

#### 第31回

#### 佐世保空襲を語り継ぐ市民の集い

☎6月15日(土)13時30分～16時  
場 旧戸尾小学校体育館  
内 シンポジウム「空襲」を通して平和を考える、平和教育資料展示(佐世保空襲資料室)、DVD上映  
☎佐世保空襲を語り継ぐ会(早稲田さん) ☎28-3389

#### 人の動き 5月1日 現在

- 総人口 257,597人(+1,360人)  
男性 120,975人(+997人)  
女性 136,622人(+363人)
- 世帯数 105,883世帯(+912世帯)  
※4月中の動き  
転入 2,394人、転出 953人  
出生 201人、死亡 282人

#### させぼ市政だより

- テレビ (毎週土曜)  
NBC・NIB→9時25分～30分  
KTN・NCC→11時40分～45分
- ラジオ  
NBC 日曜 9時25分～30分  
FM長崎 火曜 9時5分～10分  
FMさせぼ 火曜10時30分～35分  
日曜 9時30分～35分
- 新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜
- ホームページ  
<http://www.city.sasebo.nagasaki.jp/>



携帯サイト



### 重点政策への対応について① ～任期中間点における進捗状況～

平成25年4月30日に市長任期4年間の中間点を迎えましたので、市長選挙立候補時に掲げました「9つの重点政策」の進捗状況を今回から数回のシリーズでお知らせしたいと思います。

#### 1 各種産業の振興による雇用の確保

##### ①新工業団地の整備、企業誘致や地元企業の移転・増設等による企業立地の推進

- 佐世保工業団地「ウエストテクノ佐世保」は平成25年末の完成に向けて工事を進めています
- 企業立地推進局を設置し、長崎県の企業誘致を担当したベテラン職員を局長に迎えたほか、誘致担当スタッフを充実し、年間1,000社訪問を目標に誘致活動を展開しています
- これまでの実績として、市外企業2社を誘致、市内企業7社の移転・増設を支援しました  
企業誘致には大変厳しい環境下ではありますが、ウエストテクノ佐世保の立地の優位性をアピールしながら、私、川田副市長、企業立地推進局が一丸となって雇用の場の確保と地域経済活性化に取り組んでいきます。

##### ②制度融資の充実

融資の目的や対象者に応じて、23年度は7つの融資制度を設定。24年度には環境に配慮した経営を行う事業者を支援するため、新たにエコ資金融資制度を追加し、8つの融資制度にしました。  
また、融資原資となる預託金の予算を54億円計上し、約130億円の融資枠を設定し、ほぼ融資枠いっぱいでの支援を行いました。さらには金利負担を軽減するため保証料補給や融資利率の見直しも実施しました。

##### ③国内外からの観光客誘致対策等の推進

- 国内外からの観光客誘致対策として、各種メディアを活用したPRや誘致営業活動などを実施し、特に佐世保観光コンベンション協会との協働で造成した着地型観光商品「SASEBO時旅」は市民や観光客から大変好評を得ています
- 県内の他離島市町及び県と連携した「しまとく通貨」制度についても、宇久島限定ではありますが、観光客誘致による「しま」経済を刺激するため、平成25～27年度まで実施しています
- 本土最西端の神崎鼻公園(小佐々町楠泊)の整備や道路案内板等の整備を実施し、極点観光の振興を図っています

- 観光立国の実現に向け、国が新たに整備を行う観光圏に、本市等が策定した「『海風の国』佐世保・小値賀観光圏整備実施計画」が、全国6カ所のうちの一つとして認定されました。今後は小値賀町と連携して観光地域づくりに取り組み、ハウステンボスとともに佐世保観光の大きな柱にしていきたいと思ひます
- その他、観光のおもてなし講座や「させぼ観光マイスター検定制度」などを実施し、九十九島動物園「森きらら」においては50周年記念整備事業を推進しました。また、九十九島水族館「海きらら」の外国人受け入れ態勢を強化するため、4カ国語の音声ガイドシステムを導入しました

##### ④農水産業及び佐世保ブランドの確立などによる物産振興

- 「させぼ戦略産品」(世知原茶・みかわち焼・九十九島かき・九十九島いりこ)を中心に本市特産品の販路拡大を図るための施策を実施しました
- 福岡アンテナショップ「キトラス」及び「させぼ四季彩館」を活用した「食」と「観光」の認知度向上と販売促進を実施しました
- 「させぼ☆スター商品」の認知度向上と販売促進を実施しました
- 佐世保市農水産物産地化・ブランド化推進方針により①産地育成対策事業②新商品・新技術開発事業③需要開拓事業を実施し、6品目(水産4、農業2)を認定しました

##### ⑤第10回全国和牛能力共進会の開催による畜産業の振興

- 昨年10月25～29日に開催し、全国から当初予定をはるかに上回る約41万4千人の方々に訪れていただき、長崎県の和牛が全国1位を受賞し、全頭入賞の快挙を成し遂げるなど、畜産業振興の大きなステップとなりました

##### ⑥①～⑤の振興を図ることによる雇用の確保

佐世保市の有効求人倍率については、リーマンショック後の平成21年5月には「0.35」でしたが、本年3月には「0.73」にまで回復しているため、一定改善しているとみています。

佐世保市長 朝長 則男